

幼児のみんなへ！遊びを届け隊 ～36の基本的な動きを取り入れて遊ぼう～

令和4年3月3日(木)

【目的】

幼児を対象に、36の基本的な動きを取り入れた体を動かす遊びを通して、健やかな体と、進んで運動しようとする態度を育む。

【参加者】 幼児：30名

【プログラムの内容】

	10:30～11:00	移動 ・ 休憩	11:10～11:40
3歳児 (14人)	遊びリンピック (保育室)		サーキット遊び (遊戯室)
4～5歳児 (16人)	サーキット遊び (遊戯室)		遊びリンピック (保育室)

サーキット遊び

サーキット遊びでは、①レールわたり②けんけんぱ③数字踏み④ステップストーン⑤平均台わたり⑥ロープくぐり等を取り入れ、周回遊びを行った。遊びを通して、わたる、はねる、くぐる等の36の基本的な動きを行い、健やかな体を育んだ。周回を重ねるうちに、動きを自分たちで工夫しながらサーキット遊びを楽しむ姿が見られた。



遊びリンピック

遊びリンピックでは、チーム対抗でツートンディスクをひっくり返し合い自分のチームの色を増やしていく遊びや、お題の動物の動きをしながらボールを運ぶ遊び等、競争性のある遊びを行った。他の友達に負けないように、一生懸命取り組む様子や、同じチームの仲間を応援する姿が見られた。



【参加した園の声】

- ・サーキットで流れが滞った時に、すぐに新しくもう1コース作っていただいたのは大変助かりました。
- ・「自由に動きを変えていいよ」と言われたことで、同じコースでも飽きることなく工夫でき楽しめました。
- ・ゲーム感覚で体を動かす遊びリンピックでは、とても楽しく、年少も30分では物足りなくらいでした。

【成果】

- ・コロナ禍においても、12の園から事業の申し込みがあり、一定のニーズに応じた事業の企画運営ができた。
- ・アンケートより、36の基本的な動きを取り入れた体を動かす遊びの有用性を感じたことや園児のストレス発散の場になったこと等の声があり、本事業が園児の成長の一助となったのではないかと考える。

【課題】

- ・新型コロナウイルス感染症の感染者数が減少しきらず、申込のあった園のうち、3月申込の1園のみ実施となった。感染症の流行の波に対応できるような実施形態を検討していく必要がある。
- ・活動環境が園によって異なるため、臨機応変な対応が職員に求められる。より、安心安全な事業運営とねらいの達成のために、事前準備の充実、職員の指導力向上等、実施体制の強化を図りたい。